

2024 年度一般社団法人カーボンリサイクルファンド事業計画

1. 主な会議

- (1) 総会/事業報告会 定時社員総会:2024 年 6 月 5 日(ハイブリッド形式)
事業報告会:2024 年 12 月
(決議事項があれば、臨時社員総会として開催)
- (2) 企画委員会 年 2 回程度(4 月 19 日/11 月)
- (3) 採択審査委員会 年 1 回(7 月)

中期計画(2022-2025 年度)による重点項目・アクションプランに準じて継続して取り組む。

2. 広報活動

(1) Web サイト/PR 活動の充実

- 会員間連携促進のための情報充実と情報共有の強化(会員取組み事例の発信強化)
- 英語情報の拡充(英語サイトの適切な運用)
- 寄付金拠出者(広報ファンド、研究助成ファンド、吸収源ファンド、一般寄付金)のバナー掲出(4 月)
- カボ・リサ物語 コンテンツ制作と公開(2 回/年)及び英語版の作成並びに発信を強化
- カーボンリサイクルニュースによる情報発信(随時)
- 閲覧者情報や SNS を利用したカーボンリサイクルに係る情報発信(随時)
- CR 活動紹介動画の作成企画

(2) CRF 主催セミナー、交流会等イベント開催

- カーボンリサイクルサロンの開催(毎月;ハイブリッド形式を 4 回組入れ)
→対面での会員間コミュニケーションを拡大
- スタートアップ/アカデミアとの交流会を、名古屋産業科学研究所 中部 TLO 及び東京理科大学と共催(5 月 17 日)
→研究助成候補や会員候補の発掘、産学連携強化等

(3) 外部イベント参加

- 第 6 回カーボンリサイクル産学官国際会議の参画(9 月:予定)
- スマートエネルギーweek(CCUS World)ブース出展及び講演(10 月)
- ケミカルマテリアル Japan での基調講演及びブース出展(11 月)

- COP29 環境省ヴァーチャル・ジャパン・パビリオン出展(11月)
- エコプロ 2024 のブース出展(12月)
- スマートエネルギーweek(ゼロエミ火力発電)でのブース&Web 出展、講演(2025年3月)
- カーボンニュートラルを考える(イベント)への参画(2025年3月)

(4) カーボンリサイクル大学 第4期

- 若手社員向けに、カーボンリサイクルの知識を深めるとともにベンチャー企業との交流、実習を通してベンチャーマインドを醸成することを目的とする CR 大学プログラムを継続実施(10月-12月予定)。
- カーボンリサイクル大学地域版の開催を企画

3. 研究助成活動

(1) 2023年度研究助成事業

- 成果発表会(9月)

(2) 2024年度研究助成事業

- 公募開始(5月7日:予定)、公募締切(6月7日:予定)
- 採択審査委員会実施(7月19日:予定)
- 研究助成交付決定(研究開始)(7月下旬)
- 研究助成テーマに係る情報発信(8月上旬)

→公募においては、外部活用も行いながら広く案内を行う。

NEDO、中小企業基盤整備機構、スタートアップ支援プラットフォームとの連携継続

4. 社会実装ワーキンググループアクション

- 山形県酒田/庄内社会実装ワーキングの進展(ワーキングを2回程度実施)

5. CO2 吸収源への取り組みの具体化

ネットゼロカーボンのカギとなる施策である吸収源(グリーン&ブルーカーボンなど)への理解普及並びに取り組みを具体化する;

- 理解普及活動の実施
 - 地元、会員などを巻き込んだイベントを企画
- CO2 吸収源検討会の実施
 - ・吸収源に関する会員取組の事例や課題共有または関連事項の紹介などを通じた会

員オープン型の検討会の企画

・吸収源のうち特定のテーマに特化した半クローズド型の検討会の企画

6. その他の活動

(1) 政策提言

2024 年度 3 月に実施した会員アンケートの内容や企画委員会・社員総会での議論を反映して、夏頃を目途にプログレスレポートを提出予定

(2) 会員の拡充

カーボンリサイクルの普及に向けて、会員企業の拡充のための説明を継続し、新規会員の獲得を図る。

(3) 関連省庁等との連携

経済産業省、環境省、農林水産省等との連携によって、CRF 研究助成案件の国プロへの橋渡し、ワーキング派生取り組みの周知と支援要請の検討、吸収源やクレジット等の検討会等との情報交換や連携を行う。

7. 収益事業

(1) 調査事業

カーボンリサイクルに係る調査事業の受託に向け取り組みや準備を進める。

以 上